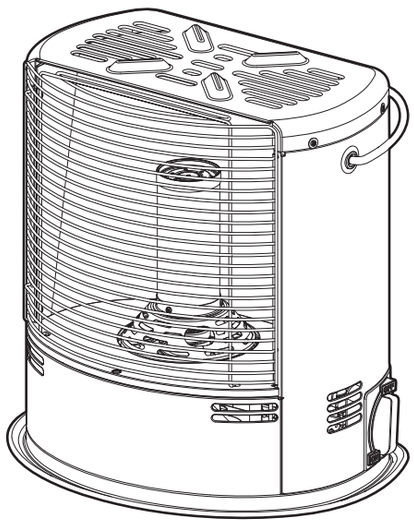
取扱説明書

Iwatani



イワタニカセットガスストーブ
デカ暖Ⅲ 一般家庭用

CB-STV-DKD3 屋内専用

このたびは、本製品をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みいただき、記載内容に従って正しくご使用ください。
そしてお使いになる方がいつでも本書を読めるよう大切に保管してください。

本製品は一般家庭でご使用いただく屋内用ストーブです。
誤った使い方や特殊な使用をすると、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本製品が故障、焼損するおそれがあります。
この取扱説明書に記載されている注意事項に従って正しく使用してください。

目次

表紙（このページ） …… 1
各部の名称と働き …… 2～
・主な仕様 …… 3
使用上の注意 …… 4～
・容器（ボンベ）の取扱いについて …… 7
使い方 …… 8～
・点火と火力調整と消火 …… 9
「故障かな？」と思ったら …… 10～
使用後のお手入れと点検 …… 11
アフターサービス …… 12

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください

〈ご使用の前に〉

製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害の発生が想定される場合を表しています。

〈絵表示には次のような意味があります〉

危険・警告・注意を促す図記号　必ずおこなう内容　禁止内容　接触禁止　分解禁止

岩谷産業株式会社

各部の名称と働き

燃焼筒(熱溜め式)
消火後もしばらく高温が続きます。ご注意ください。(生産時の燃焼テストにより燃焼筒が変色している場合がありますが、製品不良ではありません)

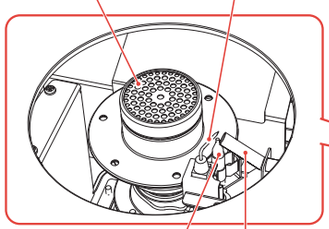
ガード
手などが誤ってバーナーなどに触れないように保護します。

天板

取っ手
ストーブを移動するときに使います。移動は消火した状態でおこなってください。使用時は必ず取っ手を倒してください。

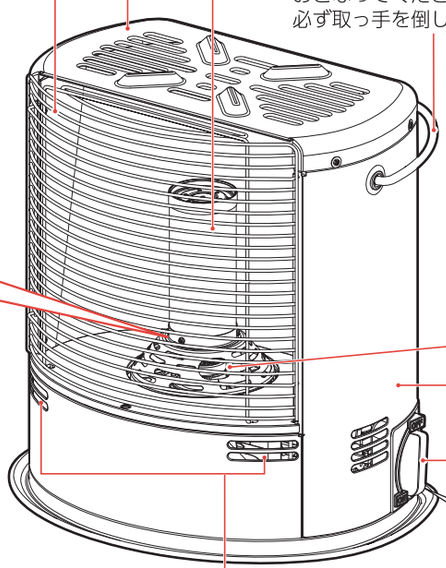
バーナー
表面でガスが燃焼します。

電極
火花が出てパイロットバーナーに点火します。



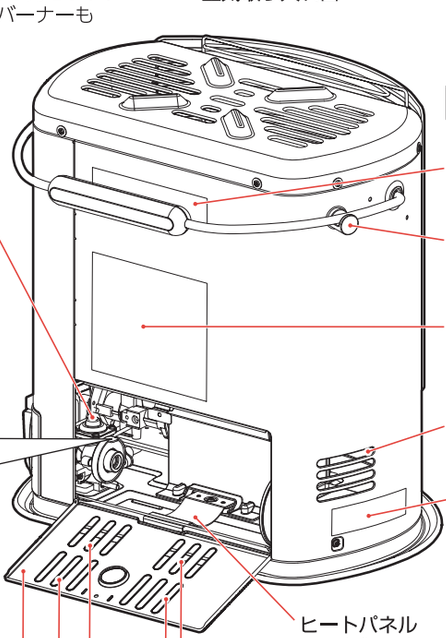
熱電対
不完全燃焼を検出します。
また、**立ち消え安全装置**としても働きます。

パイロットバーナー
バーナーに点火するための補助炎を燃焼させます。
また、**不完全燃焼防止装置**としても働きます。
※バーナー燃焼中はパイロットバーナーも常時点火しています。

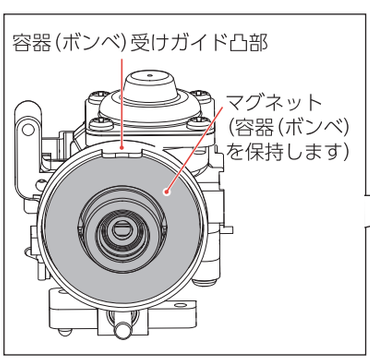


点火確認窓
注意喚起ラベル
器具せんつまみ
空気取り入れ口

圧力感知安全装置
容器(ボンベ)の中の圧力(=温度)が異常に高まる(約40 ℃以上)と、自動的に容器(ボンベ)を離脱させ炎を消します。



本体背面
注意書印刷
取っ手受け
注意書ラベル、容器(ボンベ)着脱ラベル
空気取り入れ口
本体銘板
製造年月
型式名



ヒートパネル
容器(ボンベ)を適度に温め、低温時でも出力を安定させます。

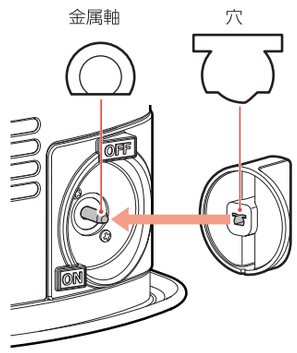
容器(ボンベ)カバー　空気取り入れ口

容器(ボンベ)
この製品には以下の専用容器(ボンベ)を使用してください。

キャップ
切込み凹部

[イワタニカセットガス]と表示されているもの

■器具せんつまみの取り付けかた
器具せんつまみは、上方向から強い力を加えるとはずれることがあります。器具せんつまみがはずれた場合は穴を正しい位置に合わせて金属軸に押しこんでください。

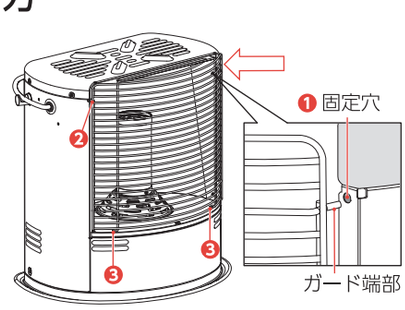


■ガードの取り外し方／取り付け方

バーナー周辺をお手入れするときは、以下の要領でガードを取り外してください。
ガードは右図に示す4箇所で本体に固定されています。

❶ **ガードの右上部を ⟸ の方向へ強く押し、ガード端部を固定穴から外します。**
❷ **左上のガード端部を固定穴から外します。**
❸ **下側2箇所のガード端部を固定穴から引き抜きます。**

●取り外し方と逆の手順で取り付けます。
ガードを外したまま使用しないでください。



注意

本体内部の部品には触れない
部品の端部などでけがをするおそれがあります。

安全装置について

本製品には４つの安全装置が搭載されています。各安全装置の働きは以下のとおりです。
使用中に安全装置が作動しバーナーが消火したときは、すぐに器具せんつまみを「OFF」の位置に戻し、作動時の対処方法に従ってください。

名称と働き	作動時の対処方法
圧力感知安全装置 容器（ボンベ）が過熱されて温度が上がり容器（ボンベ）内の圧力が異常に高まると、自動的に容器（ボンベ）を離脱させ消火します。	以下の手順で対処してください。 ①器具せんつまみを「OFF」の位置に戻す。 ②容器（ボンベ）をストーブから取り外す。 ③「使用上の注意」（P.4~7）をよく読み原因を取り除く。 ④新しい容器（ボンベ）をセットする。 （新しい容器（ボンベ）がない場合は、取り外した容器（ボンベ）を水で**冷やしてセットする。冷やさないと再び容器（ボンベ）が外れる場合があります**） ⑤点火する。→元通り正常に使えます。
立ち消え安全装置 風などによって火が消えると、自動的にガスを遮断します。	点検後、風があたらない場所で再点火してください。
不完全燃焼防止装置 ストーブ周辺の酸素濃度が低下してバーナーが不完全燃焼を起こす前にガスを遮断して消火します。	●部屋の換気を十分におこない、再点火してください。 ●空気取り入れ口を確認し、ほこりが詰まっている場合は掃除機などで吸い取ってください。
転倒時消火装置 ストーブが倒れたり強い衝撃が加わると、自動的にガスを遮断して消火します。	水平で安定した場所に設置してください。

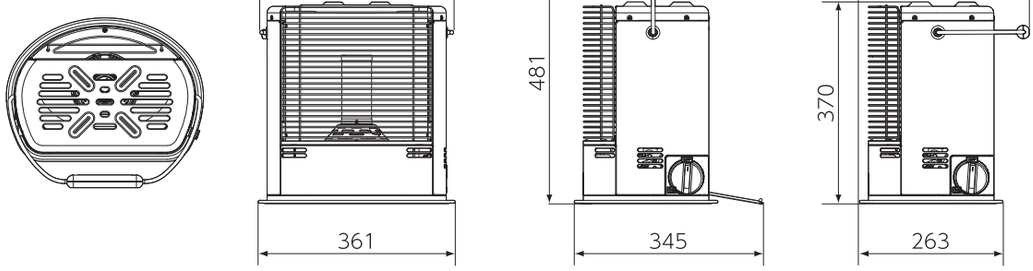
●安全装置が作動した後、**点検して再点火してもたびたび同じような作動を繰り返す場合は、裏表紙に記載のお客様相談室にご連絡ください。**

主な仕様

機種名	イワタニカセットガスストーブ　デカ暖Ⅲ
型式	CB-STV-DKD3
点火方式	圧電点火方式
安全装置	圧力感知安全装置（容器離脱型）、立ち消え安全装置、不完全燃焼防止装置、転倒時消火装置
最大外形寸法（使用状態）	361 mm（幅）×311 mm（奥行）×370 mm（高さ）
本体重量	約4.0 kg（容器（ボンベ）は含まず）
使用ガス	ブタンガス
出力（ガス消費量）	約1.35 kW（約1,150 kcal/h相当　約98 g/h）
連続燃焼時間	イワタニカセットガス使用時：　約150分 使用状況や気温により異なります。燃焼時間はめやすとしてください。 〈新品容器（ボンベ）を全て使用したときの実測値。気温20~25 ℃〉
使用容器	イワタニカセットガスと表示されている専用容器（ボンベ）
出力（ガス消費量）に基づく暖房のめやす	木造戸建住宅：４畳まで コンクリート集合住宅：５畳まで　（暖房のめやすは温暖地を基準としています）
使用可能環境	気温＋5~25 ℃の室内
天板の耐荷重	5 kg以下

寸法図

（単位：mm）



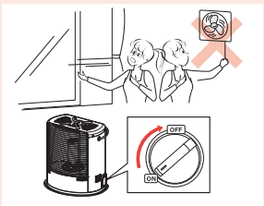
使用上の注意

⚠危険

ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す
（引火により爆発のおそれがあります）

●ガスが漏れるとガスのニオイ（くさった玉ねぎのようなニオイ）がします。
ブタンガスは空気より重く下部にたまります。火気を使用せずに、すぐに次の処置をおこなってください。

❶直ちに火を止める。（器具せんつまみを「OFF」の位置にする）
❷容器（ボンベ）を取り外す。
❸窓や戸を開けて漏れたガスを外に出す。（換気扇は使用しないでください）



■使用場所について

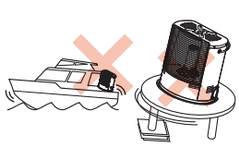
⚠警告

次のような場所では絶対に使用しない（火災や爆発、死亡事故、やけどの原因となります）

●狭い場所や換気の悪い場所

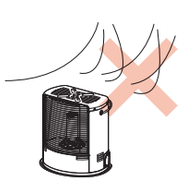
テント内や車内・乗り物の中、トイレ・浴室など閉めきった狭い場所や密閉された場所では絶対に使用しないでください。使用中は酸素を大量に消費するため、酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります。また、周囲の可燃物に引火して、火災のおそれがあります。

●乗り物や不安定な場所、傾斜した場所



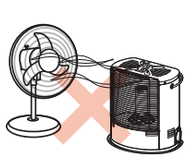
使用中にストーブが傾いたり大きく動いたりすると、炎が大きくなり危険です。また、本体が転倒するおそれがあり危険です。ゆれたり、傾いたり、動いたりすることのない、安定した水平な場所でご使用ください。

●強い風があたる場所



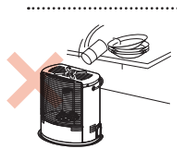
強い風があたる場所で使用すると、火が消えたり、パイロットバーナーの炎がストーブ本体に巻き込まれ、事故や本体焼損の原因になります。またバーナーの異常燃焼で炎が大きく出たりすることがあります。

●送風機器（扇風機、サーキュレーター、エアコンなど）の風があたる場所



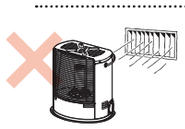
バーナーに風があたると炎が立ち上がり、火災、やけど、本体焼損の原因になります。燃焼筒に風があたるような使い方は絶対におやめください。

●落下物の危険がある場所



引火やストーブの転倒によるやけどのおそれがあります。

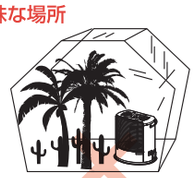
●風の吹き込む場所や風を吸い込む場所



風により炎が横に流れたり、本体内に吸い込まれたりして、本体焼損のおそれがあります。

●乾燥室・温室・動植物の飼育室など特殊な場所

植物が枯れたり動物が死亡するおそれがあります。

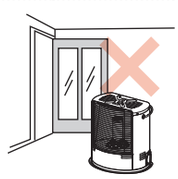


●水のかかる場所

ストーブの異常燃焼や高温蒸気によるやけどの原因となります。

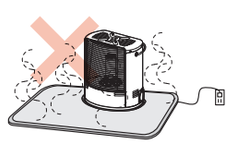
●ドアの近く

ストーブの転倒ややけどなどのおそれがあり危険です。

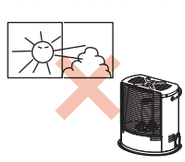


●ホットカーペットなどの床面があたたかくなるものの上

容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。

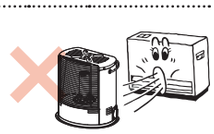


●容器（ボンベ）が過熱する場所

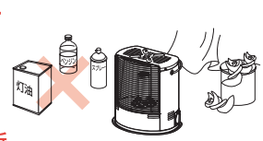


容器（ボンベ）が過熱して爆発するおそれがあります。直射日光があたるサンルームや窓際などで使用しないでください。

●火気の近くや熱気のあたる場所



●容器（ボンベ）・ヘアースプレーなどの高温禁止物やガソリン・灯油・ガスなどの引火物、布・紙類などの燃えやすいもの、ペットボトル、調理油、ライターなどが近くにある場所、毛足の長いじゅうたんの上



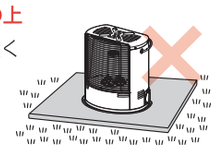
注意

次のような場所で使用しない

（やけどや本体の焼損・変形・変色、家財の損傷などの原因となります）

●じゅうたんなど熱に弱いものの上

毛足の長いじゅうたんの上に置く場合は、ストーブの下に丈夫な不燃性の敷き板などを敷いて水平にしてください。
直置きするとじゅうたんが変色することがあります。



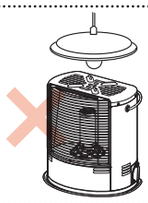
●本体の下が砂や小石、あるいは草・植物の切り株などで、容器（ボンベ）やバーナーに対して輻射熱や物理的な影響を及ぼすような場所
●シート、テーブルなど熱に弱いものの上
●本体の底部から空気や煙を吸い込む場所（無煙ロースター付きのテーブル等）

●スプレーや化学薬品を使用する場所、および綿ぼこり・粉塵の多い場所（理・美容院やメッキ・塗装工場など）

可燃性ガスや粉塵に引火するおそれがあります。また、フロンガスや塩素系溶剤は腐食性ガスの発生により金属が錆びたり刺激臭や異臭がする原因になります。さらに健康を害したり、ストーブ故障の原因になります。

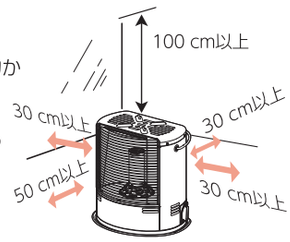
●照明器具などの樹脂製品の下

照明器具のかさなどが変形・変色することがあります。



防災上必要な距離をとって設置する

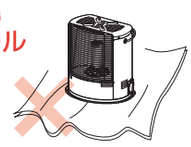
ご使用の際には家具や壁（木造建築）などの可燃物から側面・背面は30 cm以上、正面は50 cm以上離してください。
ストーブ上方と可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100 cm以上離してください。



■使用前に

注意

ストーブの下に燃えやすいもの、熱に弱いもの（ビニールクロス、新聞紙など）を敷いたり、通気の妨げになるものを置かない



ストーブに乗らない

ストーブの上に腰かけたり、乗ったりしないでください。落下、転倒などによりけがのおそれがあります。また、ストーブの破損による故障ややけどのおそれがあります。

塗装など熱に弱いものなどの上で使用するときは不燃性の断熱材をストーブの下に敷く

使用中のストーブの底部や本体前側の床面はたいへん熱くなりますので十分ご注意ください。

使用上の注意

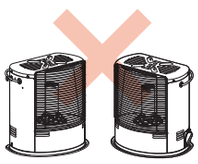
■使用中・使用後は

警告

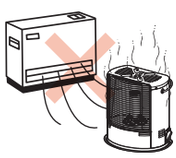
次のような使い方を絶対にしない

（容器（ボンベ）が過熱して爆発や火災、やけどのおそれがあります）

●ストーブを２台以上近づけての使用

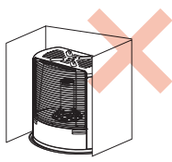


●他の暖房機器（石油ストーブ、電気ヒーター、ファンヒーターなど）に近づけての使用



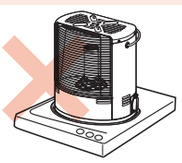
他の暖房機器の熱が容器（ボンベ）に伝わり爆発するおそれがあります。

●ストーブを囲むように覆いをしたり、乾燥などのために前面や上面を覆うような使い方



引火による火災やストーブの焼損、過熱による爆発のおそれがあります。

●他の熱源（電気こんろ、IHクッキングヒーター（電磁調理器）、等）の上での使用や保管



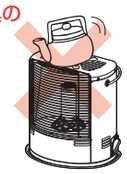
ストーブの上で調理器具を使うときは、次のような使い方を絶対にしない

●天板の上やこんろ部に直接食材を置く

●天板からはみだすような大きな調理器具を載せての使用（耐荷重５kgまで）

●調理器具の空だき

●不安定な調理器具の使用（転倒し、けがややけどの原因となります）



（内部に熱がこもったり炎が横にのびたりして、異常燃焼のおそれがあります）

天板にやかんや鍋などを載せる場合は、細心の注意を払い、使用してください。振動や接触、煮こぼれなどによってやかんや鍋などの熱湯がこぼれ、やけどをしたり、異常燃焼の原因になります。

ガードを外したままで使用しない

（やけどや火災のおそれがあります）

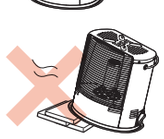
使用時は必ず取っ手を倒して使用する

火を点けたままそばを離れない

火を点けたままストーブのそばを離れないでください。外出や就寝の際は必ず消火を確認してください。電話や来客などの場合も火を消してください。

火を点けたまま傾けたり、持ち運んだりしない

（やけどや火災の原因になります）



引火のおそれのあるものを近くで使用しない

ヘアースプレー、ガソリン、灯油など、引火のおそれのあるものを近くで使用したり、点火棒やライターなどを本体の上や周りに置かないでください。
（引火による爆発、火災の原因となります）

点火棒やライター等を取っ手の上や本体周りに置かない

（爆発のおそれがあります）

子供だけの場所で使用しない

本取扱説明書を理解した大人の監視がゆきとどかない場所、あるいはお子様しかいない場所で本製品が使用されることのないようにしてください。誤った使用や接触により、火災ややけどの危険があります。

ストーブを衣類の乾燥など本来の目的以外に使用しない

（衣類が落下するなど、火災の原因となります）

使用中は換気をする

（閉めきった部屋で使用すると酸欠による窒息死や一酸化炭素中毒死の原因になります）
使用中は換気に注意し、１時間に１回１分をめやすに窓を開けるか、換気扇を回してください。

低温やけどに注意する

ストーブの近くでうたた寝をするなど、長時間無意識に熱気にあたり続けないでください。

熱気を長時間、直接体にあてない

（体調悪化や健康障害、低温やけどの原因になります）

一度で点火しなかった場合は引火に注意する

再点火の際は、ガスのニオイがなくなったことを確認してからおこなってください。溜まったガスがあると、爆発的に点火したり、周囲に引火する危険があります。

ストーブにはものを入れない

（不完全燃焼や火災の原因になります）
ストーブの中に紙、布、異物などを入れたりふさいだりしないでください。

本体・容器（ボンベ）カバーの空気取り入れ口をふさぐような使用はしない

（ストーブの異常燃焼や不完全燃焼の原因となり危険です）

燃焼中および消火直後のガードや本体の上部・金属部分、燃焼筒には手を触れない

燃焼中および消火直後のガードや本体の上部・金属部分、燃焼筒は、バーナーや燃焼筒に近接しているため大変高温になっています。やけどのおそれがありますので、絶対に触れないでください。

警告

使用後は容器（ボンベ）を取り外す

（装着したまま保管すると何らかの原因で器具せんつまみが回った場合、ガス漏れや引火の可能性があり非常に危険です）
使用後、外出や就寝などのため長時間使用しない場合は、火災予防、ガス事故防止のため、容器（ボンベ）を必ずストーブから取り外してください。

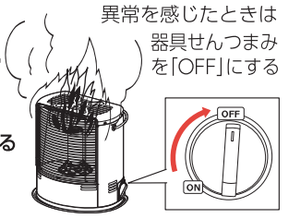
絶対に改造・分解はおこなわない

（一酸化炭素中毒死やガス漏れなどの思わぬ事故や故障・火災の原因になります）
修理技術者以外の人は絶対に分解したり修理・改造をおこなわないでください。

異常時や地震・火災などの非常時はあわてず次の手順に従う

異常例）
点火しない、使用中に消火する、異常燃焼、異常なニオイ、異常音 など

異常を感じたときは器具せんつまみを「OFF」にする



❶ 器具せんつまみを「OFF」にして消火する
❷ 容器（ボンベ）を本体から取り外す（P.8）
❸「「故障かな？」と思ったら」（P.10、11）に従う

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき燃焼していることを確認する

注意

暖房・加熱（保温）以外の用途には使わない

（過熱・異常燃焼による本体焼損や火災、やけどなどの危険があります）

ストーブの燃焼筒付近に顔や手を近づけない

（炎によりやけどのおそれがあります）

使用中および消火後しばらくはストーブに手を触れない

使用中および消火直後のストーブは高温になっています。しばらくは器具せんつまみと取っ手以外には手を触れないでください。

使用中は結露に注意する

本製品は室内燃焼機器のため、気密性の高い部屋などでは壁や天井などが結露する場合があります。使用中は換気をしてください。

■容器（ボンベ）の取扱いについて

容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでから使用してください。
使用時以外は必ずキャップをしてください。

警告

次のことを必ず守る

（火災や爆発事故の原因となります）

●高温になる場所に置かない

高温になる場所や、熱気のあたる場所に保管や放置しないでください。

●完全に使い切ってから廃棄する

容器（ボンベ）を振ってシャカシャカと音がする場合には、まだガスが残っています。必ず完全に使い切ってから廃棄してください。

●容器（ボンベ）は火気や直射日光を避けて保管する

使用後は容器（ボンベ）を本体から取り外し、火気や直射日光（室内や車内の窓際なども含む）を避け、キャップをはめて、湿気の少ない40 ℃以下の場所で保管してください。

●容器（ボンベ）は火中に投じない

容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込まない

（酸欠により窒息死する原因となります）

容器（ボンベ）に強い衝撃を与えない

（落下による衝撃などで破損やガス漏れによる引火のおそれがあります）

変形した容器（ボンベ）は使用しない

（ガス漏れの原因となります）

専用の容器（ボンベ）を使用する

必ず「イワタニカセットガス」と表示されている専用の容器（ボンベ）を使用してください。他の容器（ボンベ）を使用すると、ガスが漏れたり正常な使用ができない場合があります。

容器（ボンベ）は錆のないことを確認して、製造日（缶底に西暦年月日で印字）から約７年以内をめやすに使い切る

錆が発生し始めている場合には、ガス漏れのないことを必ず確認して、できるだけ早く使い切ってください。

使い方

●ご使用の前に、周囲に燃えやすいものがないか確認し、ストーブ周辺を片付けてください。
●気温が5 ℃以下のところでは使用できません。容器(ボンベ)が5 ℃以下になっているとブタンガスが十分に気化せず、点火しなかったり、火力が弱くなります。また、不完全燃焼の原因となります。

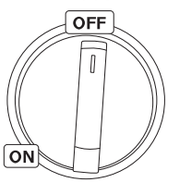
燃料の容器(ボンベ)は、必ず[イワタニカセットガス]と表示されているものをご使用ください

■容器(ボンベ)の取り付け方

下記の手順に従って容器(ボンベ)を取り付けてください。
誤った手順で取り付けると、予期しない危険が考えられますので、ご注意ください。

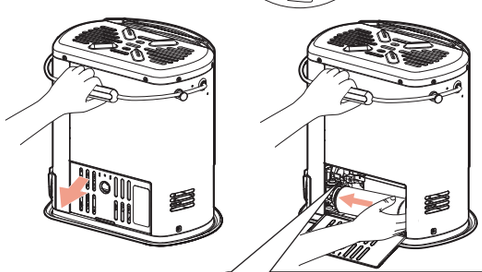
●容器(ボンベ)を取り付ける前に容器(ボンベ)内にガスが残っていることを確認してください。
●天板にやかんなど物が載っていないことを確認してください。

❶ 器具せんつまみが「OFF」の位置にあることを確認します。

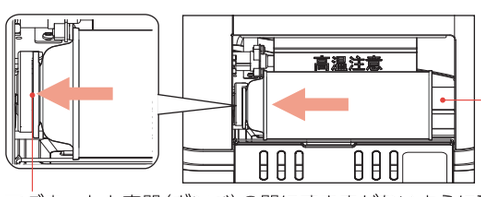


❷ 容器(ボンベ)のキャップを外します。

❸ 片方の手で取っ手を支えながら、
もう一方の手で本体背面の
容器(ボンベ)カバーを開けます。
マグネットに異物が付着して
いないか確認してください。



❹ 容器(ボンベ)を装着します。
右図のように容器(ボンベ)の切込み凹部をストーブの
容器(ボンベ)受けガイド凸部に合わせます。
容器(ボンベ)の底を押すようにして水平にスライドさせ、容器
(ボンベ)がストーブのマグネットに密着するまで押しつけます。

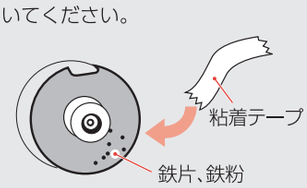


イワタニカセットガス使用時
容器(ボンベ)が正しく装着されているときには、
容器(ボンベ)の後ろ側に約1.5 cmのすきまがあります。
容器(ボンベ)装着部分は多少の「遊び」があり
動く設計になっております。問題はございませんので
安心してご使用ください。

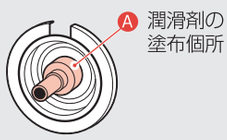
マグネットと容器(ボンベ)の間にすきまがないように確実に取り付けてください。
・装着時にガスの漏れる音やニオイがするときは、容器(ボンベ)が正しく装着されていないと考えられます。
装着状態を確認し、ガスのニオイがなくなるまで絶対に点火操作をしないでください。
・再点火は容器(ボンベ)装着部に溜まったガスをうちわなどであおぎ、ガスを散らしてからおこなってください。

❺ 容器(ボンベ)を装着したら容器(ボンベ)カバーを閉めます。
●容器(ボンベ)の誤装着でガスが漏れた場合は、溜まったガスに引火しないよう、ガスのニオイがなくなるまで点火しないでください。
●容器(ボンベ)を取り付けた後、取り付け部分からガス漏れを示すシューシューという音やガスのニオイがする場合は、容器(ボンベ)を取り外してください。接合部にゴミが付着している場合は取り除き、再度取り付けてください。

■マグネットに異物が付着しているとき
マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れしたり、容器(ボンベ)を装着できなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。



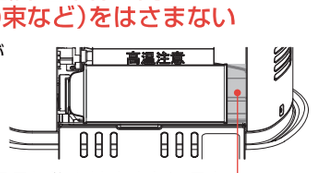
容器(ボンベ)の取り付け(装着力)が重い場合には、容器(ボンベ)の先端(下図 Ⓐ)に潤滑剤(植物油など)を薄く塗ってください。



警告

**容器(ボンベ)の底部と本体の間に
物(小石や厚紙の束など)をはさまない**

(圧力感知安全装置が
働かなくなり、容器
(ボンベ)が爆発する
おそれがあります)



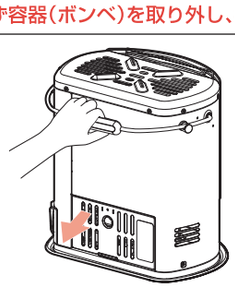
容器(ボンベ)は確実に装着する
(ガスが漏れて火災の原因となります)

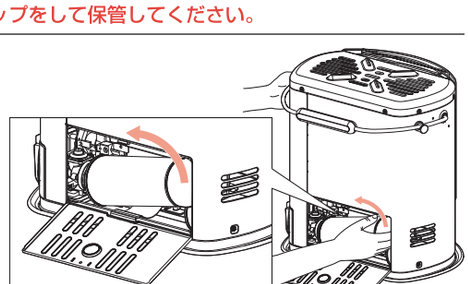
**必ず、ガス漏れがないこと、点火・消火動作に
異常がないことを確認してから使用する**
故障または破損したものと思われるものは絶対に使用しないでください。

■容器(ボンベ)の取り外し方

外出時や、就寝時など、長時間ご使用にならないときは、
必ず容器(ボンベ)を取り外し、キャップをして保管してください。

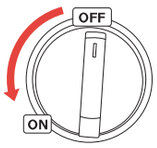
❶ 片方の手で取っ手を支えながら、もう一方の手で
本体背面の容器(ボンベ)カバーを開けます。
❷ 容器(ボンベ)の底を持ち上げながら取り外します。
❸ 取り外した容器(ボンベ)にキャップを取り付けます。
❹ 容器(ボンベ)カバーを閉めます。





■点火と火力調整と消火

❶ 点火する
器具せんつまみを「ON」方向に「バチン」と音がするまでゆっくりと回します。パイロットバーナーが点火したことを確認し、3～5秒間保持します。
・器具せんつまみは、上方向から強い力を加えるとはずれることがあります。必ずつまみの正面から点火操作してください。
→■器具せんつまみの取り付けかた(P.2)
・消火直後で燃焼筒が熱せられているとき、器具せんつまみが「バチン」という前に点火することがあります。

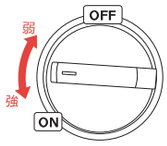


注意
点火するときは、顔や手を燃焼筒に近づけない
繰り返し点火操作をした場合、「ボッ」という音がして少し炎が上がる場合があります。

●点火しない場合は、器具せんつまみをすぐに「OFF」の位置まで戻し、数秒間時間をおいてから再度点火してください。一度で点火しなかった場合は、引火しないよう溜まったガスをうちわなどであおいでください。
●点火したとき炎がバーナーから離れて燃焼するときは、器具せんつまみを「OFF」方向にゆっくりと回し、2～3分間、火力を少し弱めてお使いください。

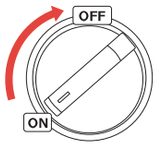
こんなとき点火しにくい場合があります
・使いはじめや気温が低いとき、本体が冷えていると点火後に火が消える場合がありますが異常ではありません。
→注意しながら数回、点火操作を繰り返してください。
・容器(ボンベ)の温度が低いとき→点火後5秒以上保持してください。
・容器(ボンベ)内のガス量が少なく温度が低いとき
→暖かい場所で保管した新しい容器(ボンベ)と交換してください。
・標高が高い場所で使うとき
初めてお使いのとき、部品に付着した油などが焼け、煙やニオイが発生する場合があります。しばらく換気しながらお使いください。

❷ 火力を調節する
器具せんつまみを「OFF」方向にゆっくり回すと火力は弱くなります。点火確認窓からバーナーの炎を確認しながら火力を調節してください。



●火力を弱めすぎると「ブブブブ」という音がすることがあります。その場合は火力を弱めすぎです。そのまま使用せず火力を少し強めてください。

❸ 消火する
器具せんつまみを「OFF」の位置まで戻し、消火したことを確認します。



注意
使用中、消火直後はガードや本体の上部・金属部分、燃焼筒に絶対に触れない
ガードや本体の上部・金属部分、燃焼筒は高温になっており、やけどのおそれがあります。

●一度で点火しなかった場合は、引火しないよう容器(ボンベ)カバー内に溜まったガスをうちわなどであおいでください。
●長時間使用すると、気化熱で容器(ボンベ)が冷やされ火力が低下します。
40℃以下の暖かい場所で保管した、できるだけ新しい容器(ボンベ)をご使用ください。
●標高の高い場所では、気圧の影響により点火しにくくなります。

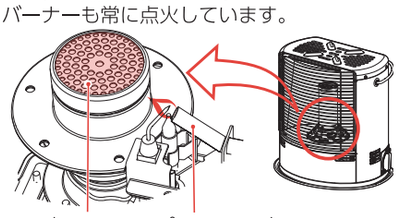
■次のような現象は異常ではありません。そのままお使いください。

燃焼筒
・燃焼筒の下側に赤熱しない部分がある。
・燃焼中、燃焼筒表面に明るさが異なる部分がある。
・燃焼筒周辺が熱により変色する。
・火力を弱めると、燃焼筒が暗くバーナー上面が赤くなる。
・消火後、しばらく燃焼筒が赤熱する。

炎の色
・初めてお使いのとき、電極付近の炎が赤くなる。
・パイロットバーナーの炎先端部が橙色に燃える。
・火力を弱めると炎が黄色くなる。

音
・点火直後から数分間、「ブーン」「ポポポ」などの燃焼音がする。
・点火時や消火後に「ピキピキ」「パーン」などの音がする。(本体の金属部分や燃焼筒が熱により膨張、収縮するために起こります)

バーナー燃焼中はパイロットバーナーも常に点火しています。



【天板のご使用について】
天板で加湿程度の湯沸かしや、調理済みの料理の保温ができます。
やかんや鍋などを載せる場合は、振動や接触によるやけどに細心の注意を払い、使用してください。
●煮こぼれしないようにご注意ください。　●空だきはしないでください。
●低温時など使用条件により、お湯が沸かなかったり、保温ができなかったり、また沸くまでに時間がかかる場合があります。

使用中に燃料が切れて容器(ボンベ)を交換するとき

●容器(ボンベ)の交換は燃焼筒が赤熱していない(冷めている)状態でおこなってください。燃焼筒が赤熱している状態で容器(ボンベ)を装着すると、装着ミスが起こった場合に漏れ出したガスに引火して危険です。
●直前まで使用していたストーブ本体は大変熱くなっています。ガードや本体の上部・金属部分に手が触れないように注意してください。

❶ 器具せんつまみを「OFF」の位置に戻します。
❷ ガスの入った交換用の容器(ボンベ)を用意し、キャップを外します。
❸ 「■容器(ボンベ)の取り外し方(P.8)」に従い、容器(ボンベ)を取り外します。
❹ 「■容器(ボンベ)の取り付け方(P.8)」に従い、交換用の容器(ボンベ)を装着します。
❺ 容器(ボンベ)カバーを閉めます。

注意
使用中に容器(ボンベ)を交換するときはやけどに注意する
燃料が切れた空の容器(ボンベ)は熱くなっている場合があります。

●ガスがなくなり炎が消える直前に「ボボボ」と燃焼音がする場合がありますが、異常ではありません。

■使い終わったら(消火後の措置)

❶ 完全に火が消えたことを確認します
消火直後は本体・容器(ボンベ)ともに熱くなっていますので、熱が冷めるまでしばらくお待ちください。
❷ 容器(ボンベ)を取り外します(P.8)
容器(ボンベ)は必ず取り外してください。器具の故障やガスが漏れるおそれがあります。
❸ 容器(ボンベ)を取り外した状態で点火します
ストーブの配管に少量のガスが残ります。危険防止のため、もう一度点火して残っているガスを燃焼させてください。

「故障かな？」と思ったら

ストーブを使用中に次のような症状が起こりましたら、処置方法を参考に対処してください。

症状	処置方法
容器(ボンベ)を装着できない ➡ 処置方法 1 2 3 12 13	
点火しにくい ➡ 処置方法 3 4 5 6 7 8 9 11 15 16	
点火しない ➡ 処置方法 3 4 5 6 7 8 9 10 12 13 14 15 16	
バーナーに火移りしない ➡ 処置方法 4 6 7 10 16	
燃焼筒が赤熱しない ➡ 処置方法 6 10 11 15 16	
燃焼が安定しない ➡ 処置方法 6 10 11 15 16	
火力が弱い ➡ 処置方法 4 6 10 15 16	
点火直後から火力が弱い ➡ 処置方法 15 16 19	
低温の環境で連続使用中に火力が弱くなる ➡ 処置方法 15 16	
ガスのニオイがする ➡ 処置方法 3 8 9 13	
点火後、器具せんつまみから手を離すと火が消える ➡ 処置方法 8 22	
使用中に火が消えた ➡ 処置方法 4 10 12	
容器(ボンベ)にガスが残っているのに火が消える ➡ 処置方法 12	
消火しない ➡ 処置方法 9	
器具せんつまみを「OFF」にしてもガスが漏れる ➡ 処置方法 3 9 13	

	原因の確認	▶	処置
1	本体に変形や歪みがありませんか？	▶	点検修理をご依頼ください。
2	マグネットに鉄片、鉄粉が付着していませんか？	▶	粘着テープで鉄片、鉄粉を取り除いてください。
3	他社の容器(ボンベ)を使用していませんか？	▶	イワタニ専用の容器(ボンベ)をご使用ください。
4	ガスがなくなっていませんか？ガスが少なくなっていませんか？	▶	新しい容器(ボンベ)に取り替えてください。
5	電極部に汚れや水分が付着していませんか？	▶	汚れ・水分をふき取ってください。
6	バーナー炎口部が目詰まりしていませんか？	▶	点検修理をご依頼ください。
7	パイロットバーナーの炎口部が目詰まりしていませんか？	▶	点検修理をご依頼ください。
8	正しく点火操作をしていますか？	▶	正しい点火操作をしてください。パイロットバーナー点火後、3～5秒間保持します。(P.9)
9	器具せんつまみが故障しているおそれがあります。	▶	点検修理をご依頼ください。
10	ガス導管(ノズル)が詰まっているおそれがあります。	▶	点検修理をご依頼ください。
11	空気取り入れ口が詰まっていませんか？	▶	掃除機などでほこりを取り除いてください。それでも直らないときは点検修理をご依頼ください。
12	圧力感知安全装置が作動していませんか？	▶	「安全装置について(P.3)」の「作動時の対処方法」に従って解除してください。
13	容器(ボンベ)が正しく装着されていますか？	▶	容器(ボンベ)を正しく装着してください。(P.8)
14	点火装置が故障しているおそれがあります。	▶	点検修理をご依頼ください。
15	お使いの場所の温度が低くありませんか？	▶	室温+5～25 ℃でお使いください。
16	容器(ボンベ)の温度が低くなっていませんか？	▶	暖かい場所で保管した容器(ボンベ)と交換してください。

症状	処置方法 原因の確認 ▶ 処置
電極の周りの炎が赤くなる ➡ 処置方法 17	17 ご購入後、初めて使用すると電極の周りの炎が赤くなります。 数回使用すると赤い炎は消えます。そのままご使用ください。
消火時に「ボッ」という音がする ➡ 処置方法 18	18 火が消えたときの音で異常ではありません。そのままご使用ください。
バーナーから炎が大きく出てくる ➡ 処置方法 20	19 バーナー面が赤くなるまでに時間がかかりますが、異常ではありません。 そのままご使用ください。
	20 点火直後に炎が離れていることがありますが異常ではありません。 しばらくすると燃焼が安定します。器具せんつまみを「OFF」の方向にゆっくり回し、2～3分間、火力を少し弱めてお使いください。
火力を弱くすると、バーナーが赤くなり炎が黄色くなる ➡ 処置方法 21	21 バーナーの炎色反応によるものです。異常ではありません。 そのままご使用ください。
点火後にパイロットバーナーの炎が消える ➡ 処置方法 22	22 使用環境におけるガスの特性によるものです。異常ではありません。 パイロットバーナーへの点火を確認後、すぐに火力を少し弱め、2～3分間、中火程度でお使いください。そのままご使用ください。

使用後のお手入れと点検

■点検・お手入れの際のご注意

使用後は点検、お手入れをおこなってください。

- ●お手入れや点検をする前に、周囲に燃えやすいものがないか確認し、ストーブ周辺を片付けてください。
- ●手、指の保護のため、必ず手袋などを使用してください。
- ●本体の丸洗いは絶対におやめください。
  ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、錆の原因となります。
- ●点検・お手入れの前には、必ず容器（ボンベ）を取り外してください。
- ●点検、お手入れはストーブが冷めてからおこなってください。
- ●ガス通路部分は絶対に分解しないでください。

■各部のお手入れ

点　検	お手入れ方法	ご注意
燃焼筒周囲のほこり	ガードを取り外し、市販のエアダスター等を使用してほこりなどを吹き飛ばしてください。ガードの取り外し方は→P.2 取り外しにくい場合は、本体が十分に冷めた後、ガードの外側から布などを巻き付けた細い棒などでほこりを取り除いてください。	燃焼筒は分解しないでください。異常燃焼の原因になります。 エアダスターは可燃成分ですので、お手入れ後、うちわなどで十分あおいでからご使用ください。燃焼筒周囲のほこりは異常燃焼の原因になります。常にきれいにしておいてください。
本体の汚れ	中性洗剤をしみこませた布でふいた後、やわらかい布で乾ぶきしてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つけるおそれがあります。
煮こぼれ・汚れの有無	固く絞った布で汚れをふき取ってください。汚れが取れにくいときは中性洗剤を使ってお手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	水気や汚れを放置すると故障や錆の原因になりますので、常に内外をきれいにしておいてください。 燃焼筒は分解しないでください。異常燃焼の原因になります。

●安心してお使いいただくために、定期的に（3年に１回程度）点検整備を受けられることをおすすめします。

点検整備は裏表紙に記載のお客様相談室にお申し出ください。

●ご使用の有無にかかわらず、古くなった製品は、安全のためご使用前に点検修理をご依頼ください。

※部品保有期間が過ぎた製品は、修理ができない場合もあります。

■長期間使用しないとき

- ●各部が汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- ●各部が十分冷めてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- ●本体に容器（ボンベ）を装着したままで保管することは絶対におやめください。
  別々に保管してください。
- ●本製品は、ときどき点検して、錆びたりしないようにお手入れをおこなってください。

■製品の経年劣化に関するご注意

本製品のガスの接続口にはゴム部品が使われていますが、ゴム部品は使用の頻度にかかわらず年月とともに劣化していきます。
本製品においては、製造後10年をめやすに買い替えをご検討いただきますようお願い申し上げます。

- ●製造年月は定格銘板に記載されています。

アフターサービス

■サービス（修理、点検）を依頼される前に

①「「故障かな？」と思ったら」（P.10、11）の項をみてもう一度ご確認ください。
②正しいご使用にもかかわらず、万一故障した場合は、お買い上げの販売店、または下記のお客様相談室にお問い合わせください。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

●当社はお客様よりお知らせいただいたお客様のお名前、ご住所、電話番号などの個人情報をサービス活動および安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
●当社は、機器の修理や点検業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示、提供はいたしません。

■保証について

①本製品には保証書がついています。領収書・レシートなどはお買い上げの販売店で発行しておりますので、ご購入日、販売店名、商品名等、商品購入の証明となることを確認してお受け取りの上、大切に保管してください。購入の証明がない場合、無効となります。
②万一、故障した場合は、保証書の記載内容により、保証期間内は無償修理いたしますので、大切に保管してください。
③保証書に記載されている無償修理規定以外は有償になります。

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

●ご住所、ご氏名、お電話番号
●製品名、型式名（定格銘板のもの）
●不具合内容（できるだけ詳しく）
●ご購入日

■右の二次元バーコードより修理のご案内を確認し修理フォームにてお申し込みください。（修理のご案内・お申込みはこちら）

https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/cg/support/repair/

■補修用性能部品の保有期間について

本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は製造打ち切り後、６年間保有しています。

★保証書をご提示のうえ、アフターサービスをお申し込みください。

保証書

イワタニカセットガスストーブ　デカ暖 Ⅲ

型 名	CB-STV-DKD3	製造番号	お名前
保証期間 本体	一年	お買い上げ日 □年□月□日 ～ □年□月□日まで	ご住所 お電話　（　）
取扱販売店・住所・電話番号			

本書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

Iwatani
岩谷産業株式会社

〈無償修理規定〉

1　取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無償修理いたします。
2　保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、製品と本書をご持参ご提出のうえ、お買い上げ販売店（修理申出先）に依頼してください。
3　ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、下記の岩谷産業へご相談ください。
4　保証期間内でも次の場合には有償修理になります。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害による故障及び損傷
（ニ）一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
（ホ）保証書の提示がない場合
（ヘ）保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
5　保証書は日本国内においてのみ有効です。
6　保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の岩谷産業にお問い合わせください。

岩谷産業株式会社

〒105-8458　東京都港区浜松町２丁目３番１号　https://www.iwatani.co.jp/jpn/

製品に関するお問い合わせは
お客様相談室　（通話料無料）　月曜～金曜 9:00～17:15（祝日、弊社休業日を除く）
0120-156269

● 携帯電話からは ナビダイヤル　0570-200665

● WEBでのお問い合わせは　https://www.iwatani.co.jp/jpn/consumer/products/support/inquiry/
※お問い合わせフォームにご記入のうえ送信してください

STV-DKD3
26,05